

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止 実行 注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



キャビネットの設置は、建築壁の構造・下地を確かめて組立設置説明書どおり正しく行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。
棚板が落下し、ケガをするおそれがあります。



据付調整時には必ず軍手を着用して下さい。



扉が傾いたりガタついたときは、丁番のネジを締めなおしてください。
破損やケガをするおそれがあります。



玄関の土間など、水に浸かる可能性がある床面には台輪を設置しないでください。
台輪のふくれや腐食につながります。

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず手運びで行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、梱包のダンボールなどで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

ウォールキャビネット重量		キャビネット重量	
W400	12Kg	W400	24Kg (29Kg)
W600	16Kg	W600	32Kg (39Kg)
W800	20Kg	W800	39Kg (49Kg)

() 内はミラー付きキャビネットの重量

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度がでないとう仕上げが悪くなり使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法（桟木45mm×100mm以上の強度のある硬い木材または12mm以上の合板）

《キャビネットの取付け向き》

本製品はキャビネットの左右・上下対称によりキャビネットの共通化をしている商品となります。製品取り付けの際、キャビネットの取り付け向きが正しくなるよう、キャビネットの向きには必ず注意をして取り付けてください。

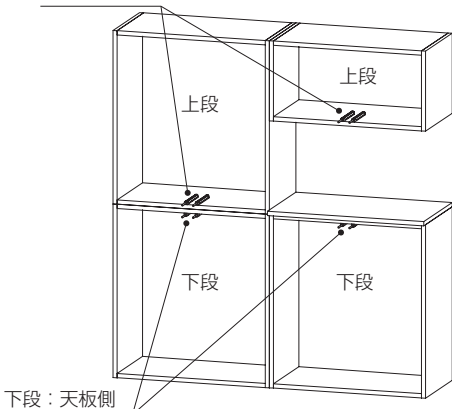
上段：底板側

● W400キャビネット

プッシュラッチのリード穴は天板・底板両方についております。上段の場合はキャビネット下側のリード穴、下段の場合はキャビネット上側のリード穴をお使いください。

● W600/W800キャビネット

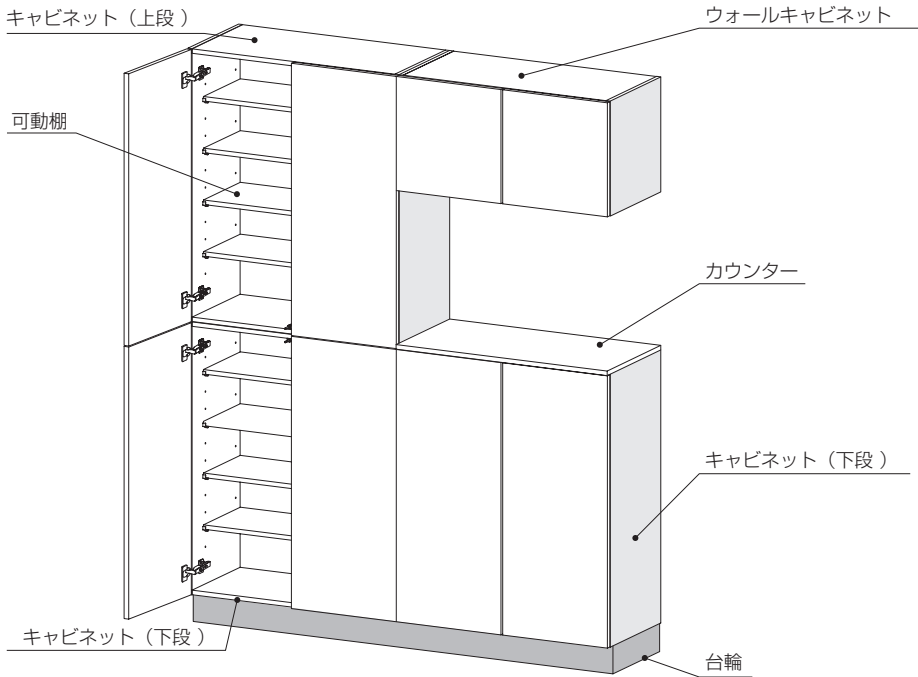
プッシュラッチリード穴は天板のみについております。
上段の場合はリード穴が下側、下段の場合はリード穴が上側になるように設置してください。



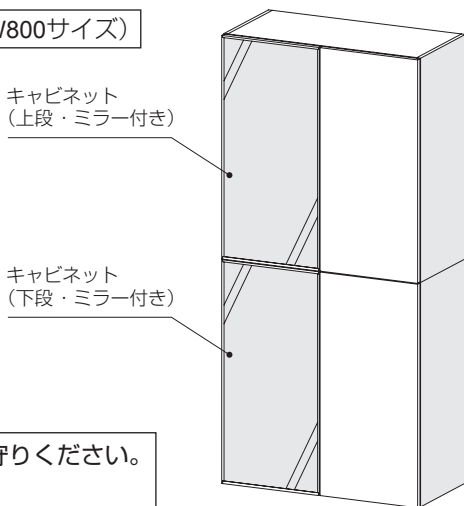
1 各部の名称

◎ゲタボックス・プラス

ミックスタイプ床置（W1600サイズ）



ツールタイプフロート・ミラー付（W800サイズ）



耐荷重については、下記の重量をお守りください。
・棚板（底板）1枚につき 4Kgまで

《使用ビスの確認》

キャビネットの固定・連結は同梱されているビスを使用し、ビスは用途によって種類があります。

- ビスを使用する際は連結ワッシャーとビスキャップを必ず使用してください。
※ 連結ワッシャーを使用しないで固定した場合、ビスが突き抜ける可能性があります。
- ビスを取り付ける際は、指示した場所に必ず下穴（下穴径φ4）をあけ、ビスを取り付けてください。

使用ビス・金物

用途

皿木ネジ L50		躯体への固定
皿タッピングビス L25		キャビネットの連結 カウンターの固定
細軸コーススレッド L30		台輪の固定

ワッシャー	
ビスキャップ	

3 設置手順



- 取付け時には扉を取り外して作業を行ってください。また扉に汚れやキズが付かないよう養生をして保管してください。（ミラー扉の場合、扉側面のミラー木口が剥き出しのため必ず養生を行ってください）
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

1.キャビネットの設置【フロートの場合】

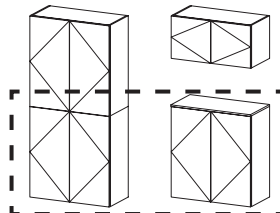
《フロートタイプ・『下段キャビネット』の設置方法》

① 取付用墨出し

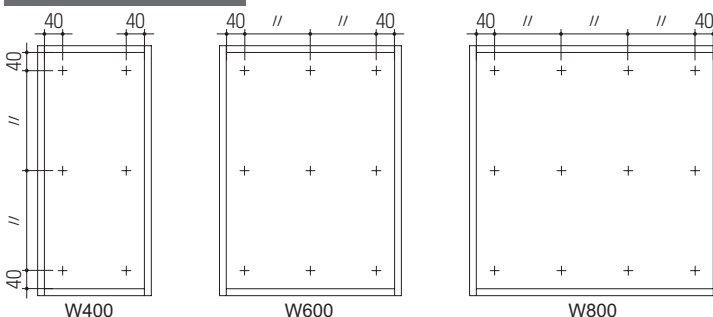
仕上がり床面を基準に、キャビネットの下端（または上端）の位置に墨出しします。

② 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴（φ4mm）を開けます。
必ず穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。
（下段キャビネットのプッシュラッチ位置が**天板側**になるように取り付けてください）



下穴位置（背板）

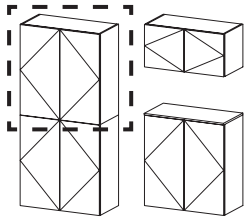


使用ビス：
皿木ネジ（L50）

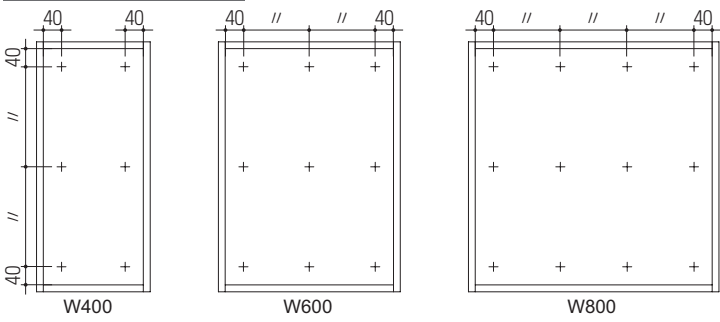
《トールタイプ・『上段キャビネット』の設置方法》

① 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴を開けます。
必ず穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。
(上段キャビネットのプッシュラッチ位置が**底板側**になるように取り付けてください)



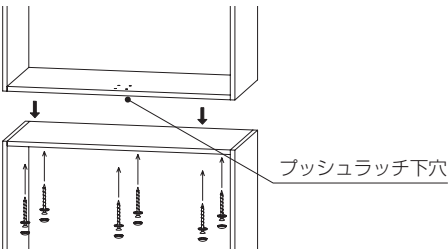
下穴位置 (背板)



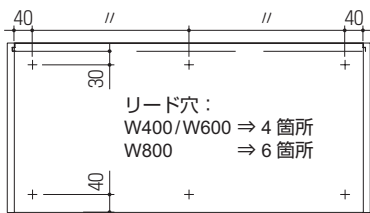
使用ビス：
皿木ネジ (L50)

② 上段キャビネットの連結

上段キャビネットを、下段キャビネットの
天板からビスで固定します。



下穴位置 (下段天板)

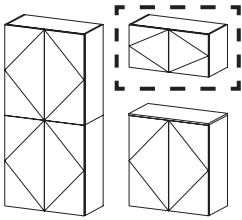


使用ビス：皿タッピングビス (L25)

《セパレートタイプ・『上段キャビネット』の設置方法》

① 取付用墨出し

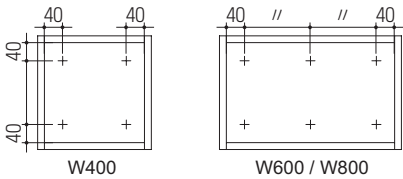
仕上がり床面を基準に、キャビネットの下端(または上端)
の位置に墨出しします。



② 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴を開けます。
必ず穴の位置に背板の芯材があることを確認してください。
(上段キャビネットのプッシュラッチ位置が**天板側**になるように取り付けてください)

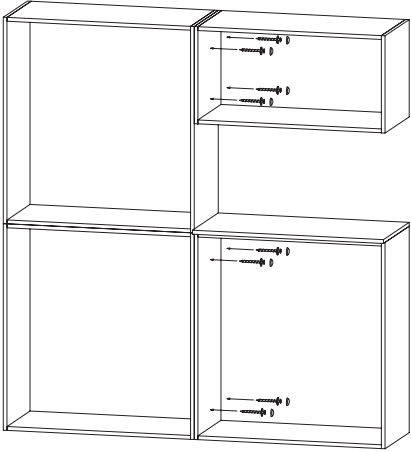
下穴位置 (背板)



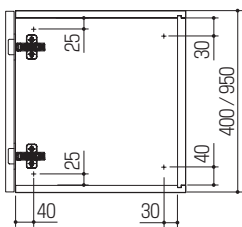
使用ビス：
皿木ネジ (L50)

3. キャビネットの連結

片側のキャビネット側板にリード穴 (φ4mm) をあけ、ビスにてキャビネット同士を連結
します。



下穴位置 (側板)

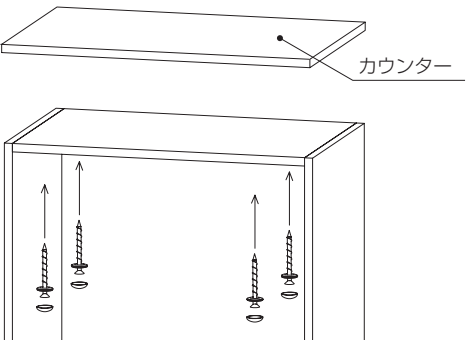


使用ビス：皿タッピングビス (L25)

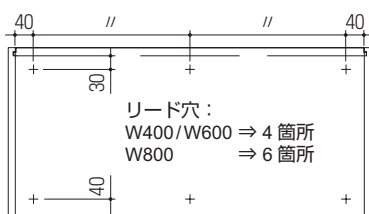
※ 側板が並びあう位置に隙間が発生
する場合は、キャビネット手前側
中央でビスを追加で取り付けくだ
さい。

4. カウンターの取付け

下キャビネット天板にリード穴 (φ4mm) をあけ、カウンターを取り付けます。



下穴位置 (下段天板)



使用ビス：皿タッピングビス (L25)

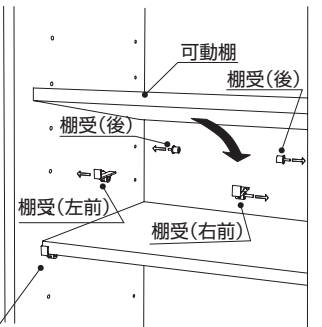
5. 棚板の取付け

側板のダボ穴に棚受けを取り付けます。
(棚受けは手前用(右・左)と後ろ用があります)

棚板の脱落防止を防ぐため、ダボ金物は必ず
奥まで差し込んでください。

可動棚は前ダボの返し部分に引っかかるように
設置します。

可動棚は棚受けに引っ掛ける

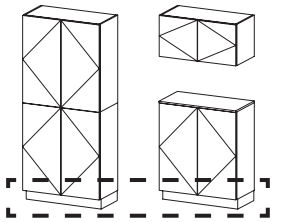


2. キャビネットの設置【床置の場合】

《台輪の組み立て・設置方法》

① 台輪の組立て

台輪を組み立てます。(台輪の組立設置説明書は台輪に
同梱されております)

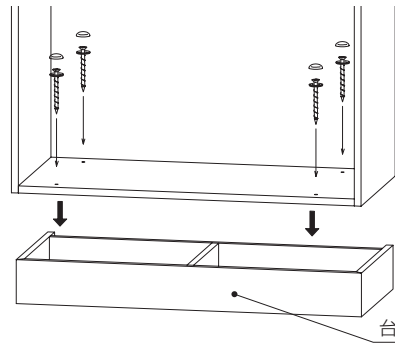


② 台輪用下穴加工

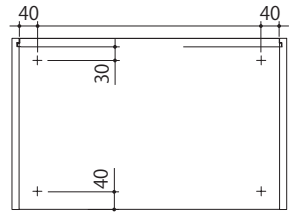
台輪を設置し、トールキャビネットを上に乗せ、台輪取付用の下穴 (φ4mm) をあけます。
※ 台輪のサイズにバリエーションがあります。台輪の取付け位置、取付時の注意事項に関
しては台輪に同梱されている組立設置説明書をご確認ください。

③ 台輪との連結

台輪の位置決めが出来たら、台輪に付属している細軸コーススレッド (L30) を使用し、
キャビネットと台輪を固定します。



下穴位置 (下段底板)

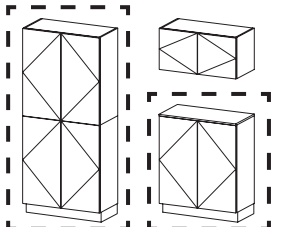


使用ビス：細軸コーススレッド (L30)

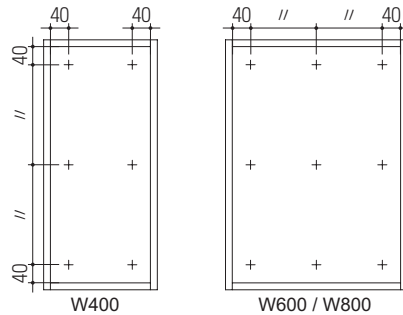
《床置きタイプキャビネットの設置方法》

① 壁面固定用下穴加工・固定

キャビネットの背板に壁固定用ネジの下穴を開けます。
必ず下穴の位置に背板の芯材があることを確認をして
ください。
(上段キャビネットのプッシュラッチ位置が**底板側**、
下段キャビネットの場合は**天板側**となるように取り付
けてください)



下穴位置 (背板)

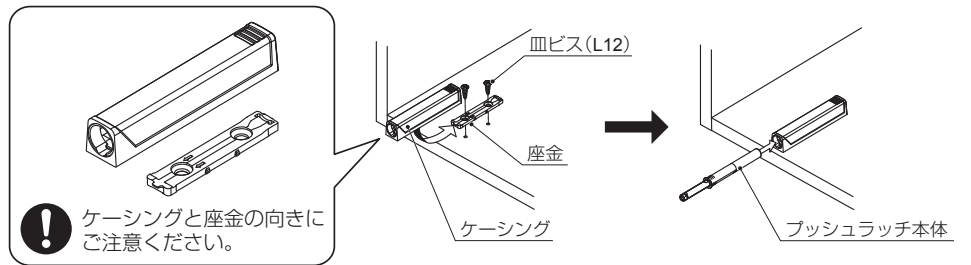


使用ビス：皿木ネジ (L50)

6. プッシュラッチの取付け

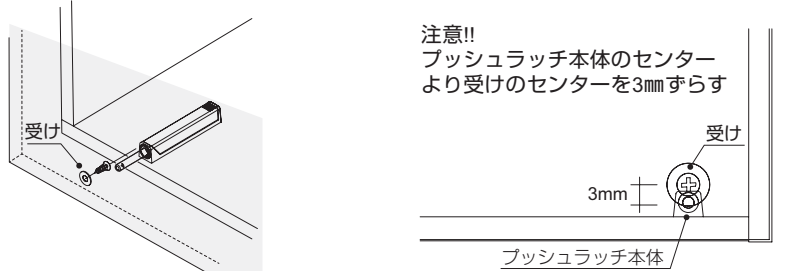
① プッシュラッチの取付け

各キャビネットにあるプッシュラッチ用取付け穴に対して、プッシュラッチに同梱されて
いる皿ビス (L12) にて座金を取り付けます。その後、ケーシング本体を取り付けます。



② 受けの取付け

プッシュラッチの受けを扉裏面にリード穴 (φ2.5) を開け取り付けます。
受けの取付けリード穴はプッシュラッチ本体のセンターから3mm 離れた所となり、
プレート取付けビスが直接プッシュラッチ本体にあたらないようにしてください。



4 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、扉にがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

- 設置状況の再確認
 - ・棚板・扉・カウンター・台輪が確実に取付けられていることを確認してください。
 - ・プッシュラッチを確実に取付け、機能する事を確認してください。
- 設置後のクリーニング
 - ・キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

